

教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 元気アップ相生 】

代表者の所属・職・氏名	相生市立 双葉小学校	連絡先	住所	相生市向陽台 23-1
			TEL	0791-22-7148
	FAX		0791-22-7134	
	e-mailアドレス		futaba-j@educet01.plala.or.jp	
	教諭 寺内 悠大			

活動実績

研究テーマ

市内の児童の基礎体力・運動能力の更なる向上を目指す。

研究の概要

【 主な取組 】

(1)陸上競技教室

- ① 日時・場所 平成28年7月27日(水) 11:00~12:30 相生スポーツセンター
- ② 講師 野勢 博昭 吉村 直樹
- ③ 活動内容
2名の講師による講義と実技指導
野勢 博昭(短距離走) 吉村 直樹(ボール投げ・走り幅跳)

(2)夏季実技講習会

- ① 日時・場所 平成28年 8月23日 相生市立双葉小学校
- ② 講師 (元気アップ相生研究員9名)
 - ◇ 体づくり運動
川淵 貴史 眞穂 信人
 - ◇ 組体操
井上 雄貴 寺内 悠大 鈴木 高志 他
- ③ 講習内容 (別紙参照)
前半にボールを使った体づくり運動、後半に組体操の講習を行った。参加した全教師が体験を通して学べるように工夫をして講習を行った。講習内容については、より実践的なものを選択することで、すぐにでも教育現場で使えるよう意識した。

(3)「できたよ」週間 【1学期〔鉄棒〕 2学期〔跳び箱〕 3学期〔マット運動〕】

各校で時期を設定し、器械運動の苦手な子どもを中心に指導を行った。各校の児童たちができた喜びを共有することで、児童だけでなく教師集団の意識改革ができた。また、お互いに励ましたり助言したりする児童の姿も見られ、児童同士のかかわりを深めることができた。

【 成果と課題 】

陸上競技教室では、2名の講師による短距離走・ボール投げ・走り幅跳における、児童への効果的な指導法についての講義と実技指導を受けることができ、大変意義深いものとなった。

夏季実技講習会では、本研究グループの構成員が講師となることで、指導するための研究討議を

何度も行い、研究員間でも良い情報交換の場・教育技術の向上の機会となった。

また、「できたよ」週間を通して、体育が苦手な児童も前向きに運動する姿が増えたことが何よりの成果だと感じている。

そして、数年前から始めた各校の体育のデータの統一化、共有化を通し、相生市の教職員が同じ意識で体力向上に向けて取組が続けられていることも成果であると考え。研究員の討議の中で、運動に積極的な児童とそうでない児童の二極化が課題として挙げられたので、来年度はその解消に向けて取り組んでいきたい。